

第28回 藤枝市総合教育会議

日 時 令和7年2月5日（水）午後4時～
場 所 藤枝市役所西館3階 特別会議室

次 第

1 開 会

2 市長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 協議事項

幼保こ小連携事業「架け橋プログラム～接続カリキュラム～」について

5 その他

6 閉 会

幼保こ小連携事業 「架け橋プログラム～接続カリキュラム～」について

教育政策課・こども課

1 要旨

義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な時期であり「架け橋期」と呼ばれている。この「架け橋期」には、幼児期の遊びを中心にした生活「遊び・生活を通しての学び」から小学校の区切られた時間の中での「授業を中心にした学び」へと、こどもにとって大きな変化があり「段差」が生まれている。

この「段差」をスムーズにし、誰もが安心して「架け橋期」を過ごせるよう、教育・保育を工夫した幼保こ小の連携の大切さが求められている。

このことから本市では、本年度から市内幼保こ小の先生を中心に「藤枝市幼保こ小架け橋プログラム策定委員会」を設置して「架け橋プログラム～接続カリキュラム～」を作成している。

2 架け橋プログラムの推進による効果

- ① 学びの連続性の確保
- ② こどもの発達に合わせた支援
- ③ 保護者の不安解消
- ④ 教師・保育者間の連携による保育力・教育力の向上

3 本年度の取組

令和7年度の「架け橋プログラム～接続カリキュラム～」の作成に向け、令和6年度に策定委員会を3回開催（R6.7/R6.12/R7.1）し「手引書」の作成に取り組んでいる。

（手引書の主な内容）

- ① 架け橋プログラム推進の効果
- ② 幼児期のあそびから学校教育への豊かな学びへのつながり
- ③ 幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿
- ④ 架け橋プログラム推進における具体的な取組（体制、情報共有、交流等） 等

4 次年度以降の取組

本年度作成する「手引書」をもとに、各学校区ごとに交流を深めるとともに、望ましいこどもの姿を共有し、各学校区で地域の実情に沿った「カリキュラム」を作成する。

また、継続的に、カリキュラムの実践や評価、改善を行っていく。

5 次年度以降の推進体制と新たな展開

「幼保こ」と「小学校」との連携を深めるため、こども課に新たに「校長OB」を配置し、あわせて本市の先進的な「小中一貫・コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を活用することで、学校等や地域及び保護者が相互につながる仕組みを構築する。これらにより、未就学児から中学卒業までの間、誰一人取り残すことなく丁寧な接続を行う本市独自の新たなコミュニティ・スクールを展開する。

6 今後のスケジュール

- ・～R7.3 手引書の完成
- ・R7.4～ 「手引書」をもとに各学校区ごとの「カリキュラム」の作成（※校長OBの活用）
- ・R8.4～ 継続的な「カリキュラム」の実践や評価、改善（※学校運営協議会の活用）

ふじえだ かけはし BOOK

手引書（素案）

令和7年3月作成

はじめに

義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤を作る大切な時期であり、「架け橋期」と呼ばれています。市内では、行事等を通じたこども同士の交流や、中学校区ごとの職員間での参観および協議、教育・保育のための研修、入学に向けた連絡会などを通じて、積極的な関わりや連携が広がりつつあります。藤枝市は、今後、市内全域で生涯の学びの出発点となるこの時期に、誰ひとり取り残すことなく、丁寧にこどもたちの学びと生活を接続できるよう体制を整えていきます。こどもに関わる全ての大人たちが共に協力し、未来に向かってこどもたち一人ひとりが生き生きと学び、笑顔で生活することができるように、この時期のこどもの学びや育ちについて、一緒に考えていきましょう。

1 架け橋プログラムとは

幼稚園・保育園・こども園等と小学校との間のカリキュラムを一層密につなぐ取組です。

「架け橋期」と呼ばれる5歳児から小学校1年生の時期は、こどもの生涯にわたる学びや生活の基盤を育む重要な時期です。この時期を支える「架け橋プログラム」は、こどもに関わる全ての大人が立場の違いを超え、自分事として連携・協働し、こどもの多様性に配慮しながらすべてのこどもに学びや生活の基盤を育むことを目指す取組です。

このプログラムは、情報共有や交流、カリキュラムの連携を通じて、幼児教育で培われた能力をさらに伸ばすことや、0歳から18歳までの学びの連続性に配慮しながら、進められていきます。

ふじえだ架け橋カリキュラムとは

幼保こ小の保育士・教諭等が、共通の視点を持ちながら、こどもの学びや育ちを豊かにし、相互の教育内容や教育方法の充実を図るために、協働して作成する「架け橋期」のカリキュラム

アプローチカリキュラム

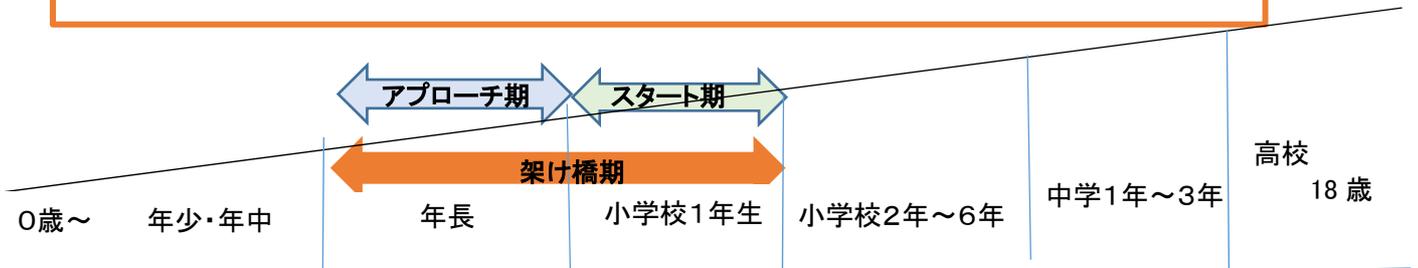
小学校教育の先取りではなく、小学校以降の教育を見通しながら、その基盤となる資質・能力を育成していくことを踏まえて教育活動を実施していくためのカリキュラム

スタートカリキュラム

小学校へ入学したこどもが、幼児期の遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し新しい学校生活を作り出していくためのカリキュラム



アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムという接続期のカリキュラムをより長期的な視野で捉え、各園・学校の目標や特色、各地域の特色に応じながら、主体的に自己発揮して遊びや学びを楽しむこどもの姿を目指して作成していきます。



架け橋プログラムを進めることでいいこといっぱい！！

こどもへの支援の幅が広がります！「1年生の学びは0からの出発でない」と実感するから…

こどもたちが自信をもち、笑顔で次のステップに進めます！学びや育ちが連続するから…

一人一人に応じた支援が充実します！園と学校、関係機関が連携し互いに分かり合うから…

日々の保育の質が高まり、やりがいを感じます！「幼児の遊びが児童の学びにつながる」ことを意識するから…

こどもの笑顔が保護者の安心に、保護者の安心がこどもの成長につながります！スタート時のこどもと保護者の不安が軽減・解消されるから…

教師・保育士等のこども観・人間性が磨かれ、保育力・教育力が向上します！交流を進め、それぞれが学び合うから…

2 架け橋期の円滑な連携・接続へ

～こどもが育んできた資質・能力をつなぐこと～

幼稚園・保育所・こども園等において培われたこどもの育ちは、小学校とそれ以降の教育の基盤とするものです。幼保こ小の接続は、幼児期においてこどもが育んできた力を小学校教育に円滑に接続することです。



小学校1年生の学びは
0からのスタートではない



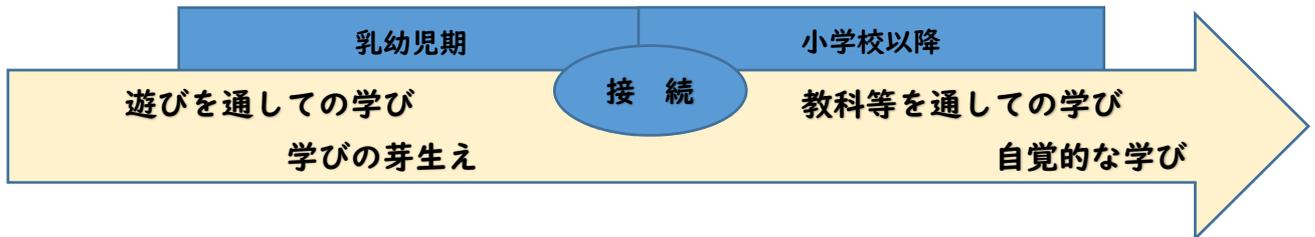
幼児教育において育みたい資質能力

- 幼児教育において育みたい
資質・能力
- ・「知識・技能の基礎」
 - ・「思考力・判断力・表現力等の基礎」
 - ・「学びに向かう力・人間性等」

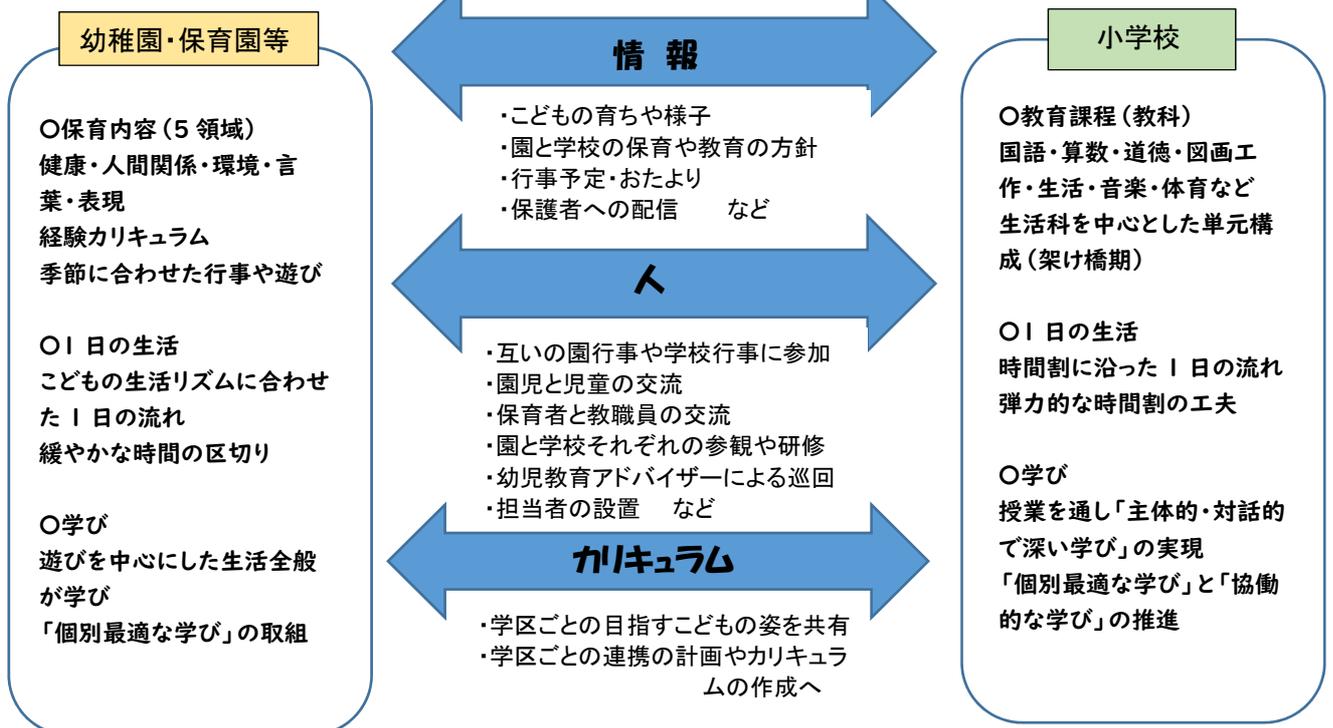
小学校教育により育成すべき資質能力

- 小学校の教育により育成すべき
資質・能力
- ・「知識・技能」
 - ・「思考力・判断力・表現力等」
 - ・「学びに向かう力・人間性等」

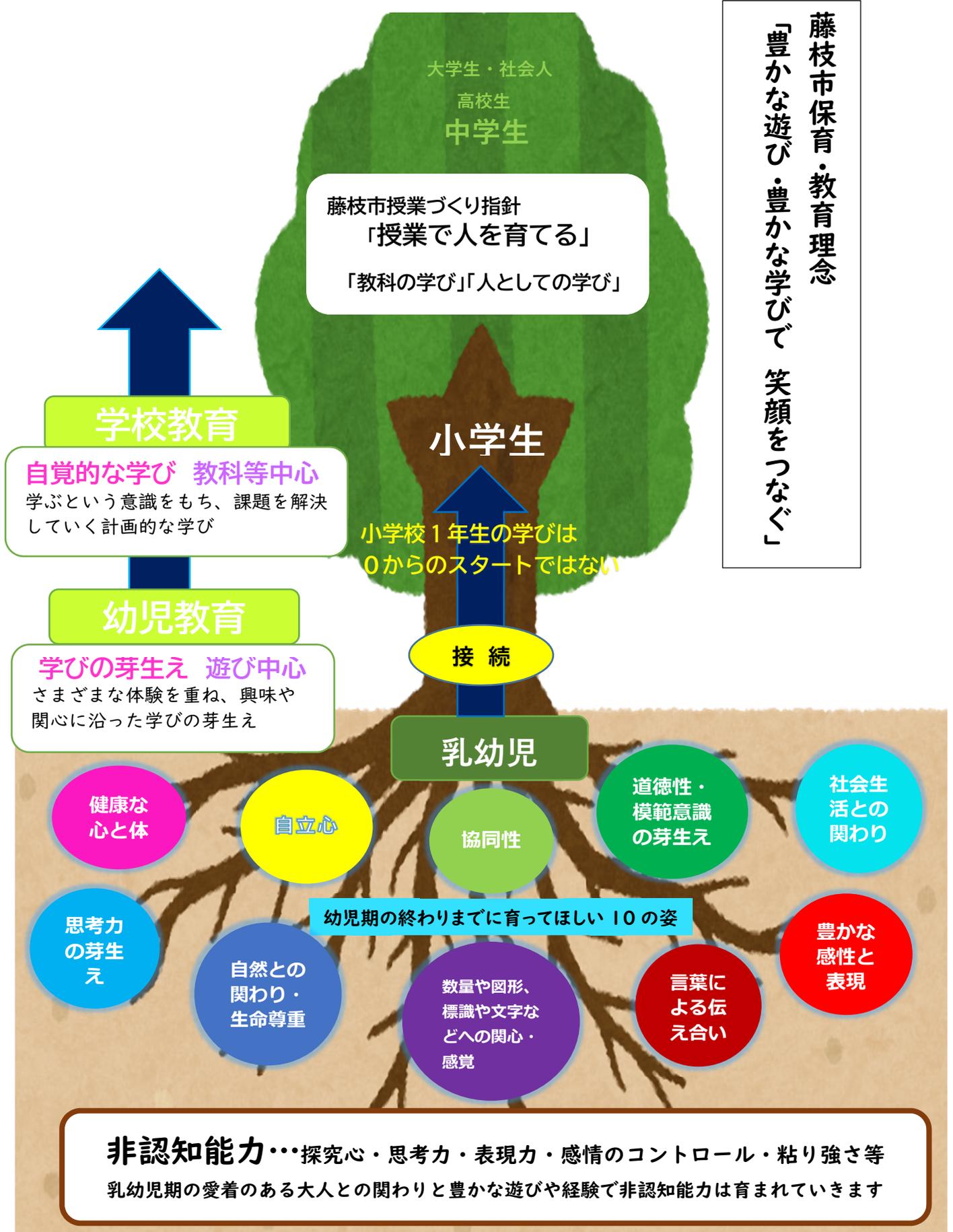
つなぐ



連携のポイント



3 幼児教育と学校教育をつなぐ～学びの連続性～

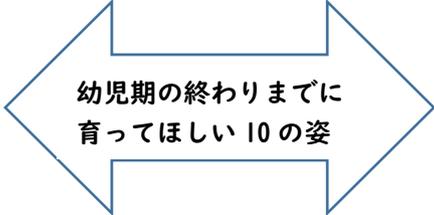


4 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」は、幼児教育、保育のねらい及び内容等に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている小学校就学時の子どもの具体的な姿です。この「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を手掛かりに互いの保育や教育への理解を深めていきましょう。

<幼稚園・保育所・こども園等>

10の姿を念頭に置きながら、小学校以降の生活や学習の基盤となる資質・能力を育成する



<小学校>

10の姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼児期に育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施する

☆10の姿は、到達すべき目標ではなく、個別に取り出して指導・評価されるものでもありません。
 ☆幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領に同じように示されており、どこの幼児施設を修了しても「10の姿」の視点は同じです。

| | |
|--|---|
| <p>① 健康な心と体</p> <p>就学前教育・保育施設等における生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。</p> <p>・基本的な生活習慣が身につく ・目標をもち意欲的に体を動かす など</p> | <p>② 自立心</p> <p>身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を持って行動するようになる。</p> <p>・自分で考え、工夫する ・最後までやり遂げて自信を持つ など</p> |
| <p>③ 協同性</p> <p>友だちと関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。</p> <p>・友だちと積極的に関わる ・友だちと協力する など</p> | <p>④ 道徳性・模範意識の芽生え</p> <p>友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いをつけながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。</p> <p>・やってよいことや悪いことが分かる ・ルールを理解し守ろうとする など</p> |

| | |
|--|---|
| <p>⑤ 社会生活との関わり</p> <p>家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、就学前教育・保育施設等内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝えあったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。</p> <p>もとのばしょにもどすね</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・公共の場や施設を大切に使う ・人の役に立つ喜びを感じる など | <p>⑥ 思考力の芽生え</p> <p>身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えを良いものにするようになる。</p> <p>それもいいね</p> <p>こっちのほうがいいよ!</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で試行錯誤する ・発見を楽しむ など |
| <p>⑦ 自然との関わり・生命尊重</p> <p>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念を持つようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。</p> <p>いろんなおとがする</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・自然の不思議さを確かめようとする ・飼育や栽培を通し動植物に愛着を持つ | <p>⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p> <p>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚を持つようになる。</p> <p>ここは、チューリップのばしょね</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ものを数えたり数字を使ったりする ・標識の役割や、形を覚えたりするなど |
| <p>⑨ 言葉による伝え合い</p> <p>保育教諭等や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に着け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。</p> <p>ぼくは、こっちがいいとおもうな</p> <p>それもすてきね</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・言葉によるやり取りを楽しむ ・絵本や物語に親しみ、思いを巡らす など | <p>⑩ 豊かな感性と表現</p> <p>心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲を持つようになる。</p> <p>わーい おおきくできた</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや活動の中で、様々な感情を味わう ・感情や思いを言葉にして表現する など |

幼児の遊びと学校教育に結び付く 10 の姿 《ダンゴムシと遊びたい》

5歳児の女兒二人。土手での散歩でダンゴムシをつかまえて帰ってくると「ダンゴムシちゃんたちに遊び場を作ってあげたいの！」と新聞紙の上にひろげました。遊び場づくりに試行錯誤しているとダンゴムシのおなかに何か動くもの（赤ちゃん）を発見しました！！



階段と一緒に滑り台も作ったら、もっとおもしろいかも

遊び場をつくってあげたいの。階段がいいかな…

私も一緒に階段作るよ
ここのところ、やってみるね

ダンゴムシを触った後は手を洗わないとだよね～

ねえ、順番にやる？
こっち、先にやっていい

わあ～赤ちゃん生まれてる～
たくさん生まれてる！
全部で何匹になったんだろう

幼児教育

ダンゴムシとの時間は、こんな「10の姿」に結び付いています

思考力の芽生え

身近な動植物に愛着をもち、遊び場を作ろうと、身近な材料を用いて試行錯誤する。

協同性

友だちの思いに共感し、役割分担をしながら協力して作ろうとする。

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

数が増えていることに気づき、数を意識する。

自然との関わり・生命尊重

身近な動植物に関心を持ち世話をしたり観察したりし、命あるものとして大切にする気持ちを持つ。

言葉による伝え合い

自分の考えを伝えたり、相手の話を注意深く聞いたりし、言葉での伝え合いを楽しむ。

豊かな感性と表現

友だちと一緒に感じたことを表現することを楽しみ、意欲を持つ



学校教育

乳幼児期に遊びを通して育った力は、小学校教育にどのようにつながっていくの？

生活科「いきものとなかよし」

生き物の関わりを通して生き物に親しみをもち命のすばらしさを感じる

算数科「10までのかず」「あわせていくつ」

個数の数え方や数の読み方などを理解し、数を用いることができる

何を食べるか調べてエサを用意しないとね！



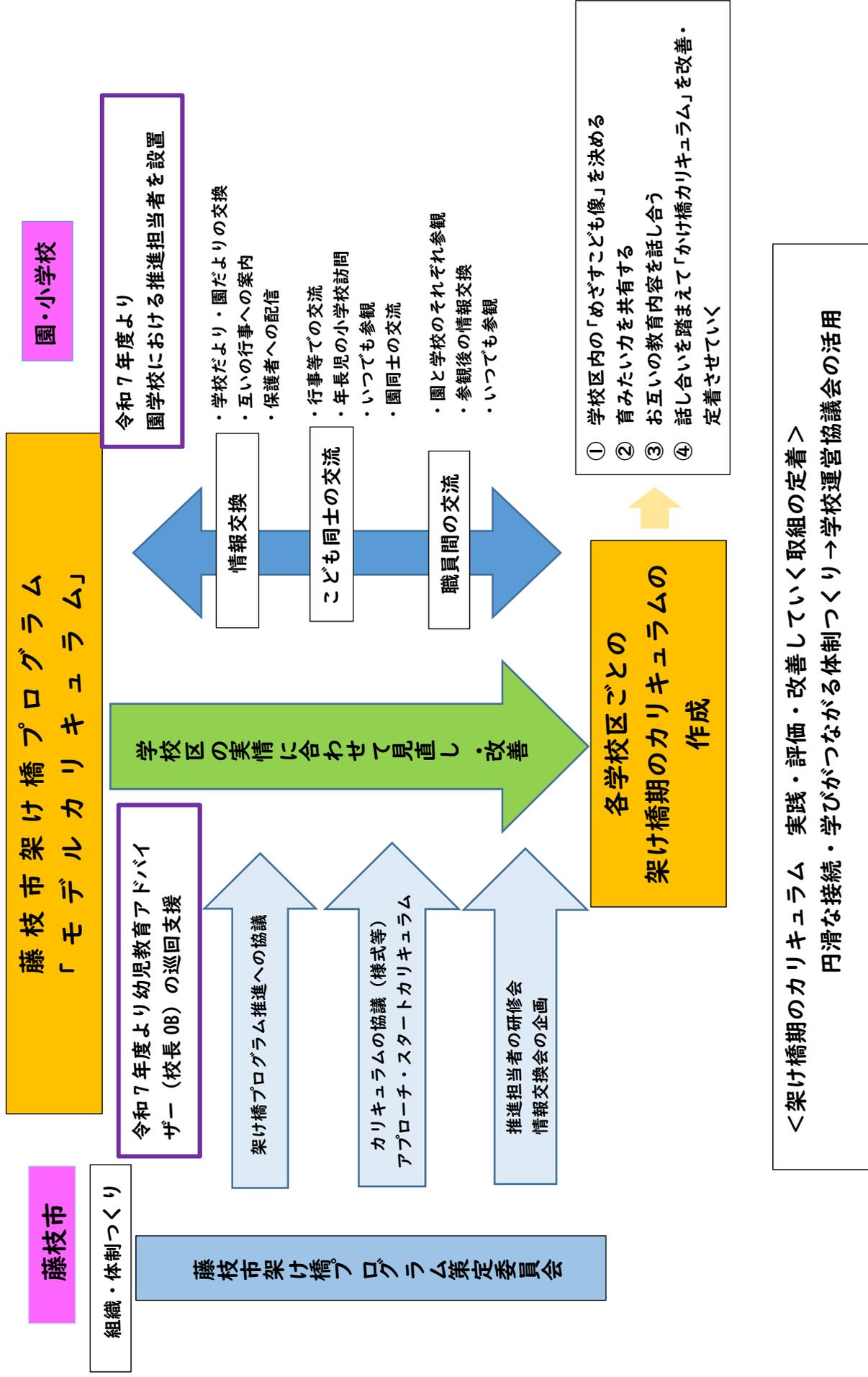
どこにいるのかな？！もっとさがしてみたい！

〇個と〇個全部で〇個になるね



何匹いるか数えてみよう

藤枝市架け橋プログラム（取組イメージ図）



| | | | |
|------------------------|---|---|---|
| ふじえだ架け橋モデルカリキュラム (案) | | ●幼児期までに育ってほしい10の姿 (1)健康な心と体(2)自立心(3)協同性(4)道徳性・規範意識の芽生え(5)社会生活との関わり(6)思考力の芽生え(7)自然との関わり・生命尊重(8)数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚(9)言葉による伝え合い(10)豊かな感性と表現 | |
| 藤枝市保育・教育理念 | 〇〇保育園 (保育目標) | 〇〇小学校 (教育目標) | |
| 期待するこどもの姿 | 豊かな遊び・豊かな学びで 笑顔をつなぐ | | |
| 月 | 4月～9月 | 10月～3月 | 4月～9月 10月～3月 |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に慣れ、友達との遊びや運動を楽しむ | <ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取組み最後まで頑張る自分の思ったことや感じたことを豊かに表現する 興味を持って見、聞き、考えを工夫していく | <ul style="list-style-type: none"> 園の経験を生かしながら、自分でできることや新たなことに主体的に取り組む。 小学校での学びと園での体験がつながっていることに気づき、学びを深めようとする |
| 遊びや学びのプロセス | 遊びや生活を通して総合的な学び | | |
| 生活のプロセス | <ul style="list-style-type: none"> 友だちと遊びや考えを出しあいがながら試したり工夫したりしながら遊ぶ 共通の目的に向かって、互いの思いや考えを受け入れながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさを味わう 自信をもって、自律的な生活習慣を確立する <ul style="list-style-type: none"> 小学校への慣れをもって生活に取り組む | <ul style="list-style-type: none"> 共通の目的に向かって、工夫しあったり認めあったりしながら協同して遊ぶ楽しさや充実感を味わう | <ul style="list-style-type: none"> 学校生活に慣れる <ul style="list-style-type: none"> 安心して活動し、楽しむ 1年間を通して成長の確認と今後の成長への期待 学校生活に慣れ、自己を發揮しながら課題の解決に向けて取り組む |
| 園や小学校で展開される遊びや生活・学習構成等 | <ul style="list-style-type: none"> 明るくのびのび行動したり、進んで運動したりすることへの興味や意欲につながる生活や遊び 身近な人と親しみ、工夫したり協力したりして一緒に活動することを楽しめる遊びや生活 身近な環境に親しみ、発見を楽しんだり、考えたりすることにつながる遊びや生活 言葉に対する感覚を豊かにする遊びや生活 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しめる遊びや生活等 | <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が安心感を持ち、新しい人間関係を築けるようにする活動 <ul style="list-style-type: none"> 生活科を中心とした合科的・関連的な指導による単元構成 日常生活とつながる学習活動等 義務教育としての基礎的な資質・能力の育成を旨とした教育 | |
| 指導上の配慮事項 環境の構成 | <ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感を高める 遊びに夢中になり、発展させることができるよう環境を構成する 子どもの自発的な活動を支え、挑戦意欲が高まるようにする 子ども同士の間合い、学び合いを支える | <ul style="list-style-type: none"> 入学の喜びを共有し、子どもにも共感しながら温かな学級づくりを工夫する 幼児期の遊びを通じた総合的な指導を意識しながら一人一人の個性(資質・能力)を見取る | |
| こども同士の交流 | <ul style="list-style-type: none"> 交流する中で小学生に慣れを持ち、小学校入学を楽しみにする | <ul style="list-style-type: none"> 交流する中で園児に親しみを持ち、一緒に活動することを楽しむ | |
| 職員間の交流 | <ul style="list-style-type: none"> 幼保こでの交流・5歳児と1年生の交流・行事等での交流 他 | | |
| 家庭や地域との連携 | <ul style="list-style-type: none"> 保育参観や授業参観(先生の間わり・環境構成・子どもの育ちや発達を学びあう等)・担当者の連絡会・研修会(共通の視点をもとにカリキュラム、交流会等の検討)・要録による引継ぎ 他 小学校への期待感を家庭と共に膨らませていけるようにする 就学に対して保護者が安心感を持てるように支援していく 就学に向けて、生活リズムを整え、基本的な生活習慣が身につくよう連携して取り組む | | |

【ふじえだ幼保こ小架け橋プログラム策定委員】

| | | | |
|--------|-------|-------------|----------|
| 委員長 | 鈴木 訓子 | 藤枝聖マリア保育園 | 園長 |
| 委員 | 村上 伸明 | 稲葉小学校 | 校長 |
| 委員 | 中野 明子 | 大洲小学校 | 教頭 |
| 委員 | 森下 真紀 | 青島東小学校 | 主幹教諭 |
| 委員 | 森 順子 | 教育政策課 | 指導主事 |
| 委員 | 伊村 恵美 | 藤枝東幼稚園 | 園長 |
| 委員 | 杉本 和也 | 駿河台こども園 | 副園長 |
| 委員 | 伊藤有美子 | 順心幼稚園 | 総務主任 |
| 委員 | 矢部 陽子 | 高洲こども園 | 主幹保育教諭 |
| 委員 | 山村 衣余 | 藤枝市立前島保育園 | 主任保育士 |
| 委員 | 鈴木 忍 | こども発達支援センター | 発達教育担当係長 |
| 委員 | 常泉美紗子 | こども発達支援センター | 発達支援係長 |
| アドバイザー | 永田恵実子 | 静岡福祉大学 | 教授 |

【事務局】

藤枝市健康福祉部 こども未来応援局 こども課